

日本ビクター 寿会ニュース

No.500 (昭和38年7月創刊) 平成26年冬季号

寿会のめざすこと

私達寿会会員は、「大和一致」の伝統精神を継承し、互いに親睦を深め、助け合い、いつまでも心豊で生きがいのある人生づくりをめざします。



富士市の岩本山にて撮影

新年明けまして
おめでとうございます
本年もよろしく
お願い申し上げます。



・本部報告 H26年度 会長挨拶	2
500号ニュース記念特集	
・上 信 越 支部活動報告	7
・埼玉・栃木 支部活動報告	10
・千 葉 支部活動報告	11
・茨 城 支部活動報告	16
・横浜中央 支部活動報告	17
・湘 南 支部活動報告	19
・多 摩 支部活動報告	20
・サークル活動 (囲碁・ゴルフ・ハイキング)	21
・本部だより	33

新年を迎えてのご挨拶と これまでの寿会活動・これからの課題

会長 関 毅



新春明けましておめでとうございます。

寿会会員皆様にはご家族共々明るく和やかに、新春をお迎えなられたこと
をお慶び申し上げ、健やかで実りある年を願いお祈りいたします。

ここで厳しい環境下にある、日本ビクター寿会の誕生から今日までの歩み
について要約してお話したいと思います。

ご承知のように寿会は、昭和37年（1962年）会社創立35周年記念
事業の1つとして、在職中の先輩有志方々の強い想い・懸命な努力の中、
同年11月22日の寿会設立総会には全会員64名が集い、会社からは百瀬社長、高柳専務（当時）
ご出席のもとに寿会は誕生した。更に翌38年に第1回総会開催と共に寿会ニュース第1号も発刊
されました。

（註） 現在寿会ニュースは年4回発刊ですが、本号は記念の第500号となりました。本紙に第
1号から記念号の抜粋記事に加え、第1回総会に寄せられた百瀬社長の寿会への期待等が掲
載されています。併せご覧下さい。

このように会員相互の親睦・助け合い、会社との一体感等を掲げる寿会は順調に発展を続け、平
成9年（1994年）群馬（現上信越）支部を先頭に10地方支部が誕生、首都圏地域も平成24
年（2012年）支部体制となり全国18支部体制となりました。

「寿会のめざすこと」のスローガンのもと、会社の支援も頂き積極的な活動が全国的に展開され
ました。

本年は、支部主導體制3年目を迎え、更に各支部が寿会精神に則り、地域に密着した特徴ある活
動をより強く推進されることを期待し、本部もこの助成・支援を積極的に行っていきます。

寿会は、半世紀余の歴史・活動体験の中で学んだものは貴重なものであり、寿会活動の継続を決
めています。

会員皆さんの変わらないご支援をお願いし、新年のご挨拶といたします。

寿会ニュース500号の歴史

寿会ニュース歴史

ニュース刊行500号の節目にあたり、創刊当時の貴重なニュースから現在まで、長い歴史を走
り読みしてみた感想です。私見を交えて書いてみました。

※ニュースの歴史管見は400号記念号で編集委員 荻原正知様執筆の記事を引用させて頂き追
加して執筆しました。

○創刊は50年前（1963）

昭和38年7月に第1号が発行されました。寿会創立は37年11月ですから、創立8ヶ月後
に産声を上げ、爾来連綿として50年間絶える事なく刊行を続けてその役割を果たして来ました。

○刊行形態は月刊誌

初期の12号（昭40年7月）迄は、不規則ですが、以降は完全に毎月発行されております。

○判型

B5判横組で始まり122号(昭49年9月)よりB5判縦組に変更、これを23年間続けて、392号(平9年4月)より現在のA4判横組に変わりました。

○頁数

100号(昭47年11月創立10年)頃までは、4頁から6頁となっています。以後、投稿者も増え、連載ものが続き、7→9→3頁と漸増しています。

増頁では220号(昭57年11月創立20年)が23頁、229号(昭58総会特集)21頁、279号(創立25年特集。)25頁等が目立ちます。

○書体・印刷・電子配信

1号から8号(昭39年11月)迄は手書き(山脇栄治さん?)の謄写版(ガリ版)印刷です。当時の会員数は約100名でした。

9号(昭40年1月)から会社のご好意でタイプして頂くとあります。

566号(昭44年3月)より2色刷りで表紙のデザインを新たに制定し、印刷屋の仕事になっています。図版、写真、カットは392号(平9年4月)まで一切見当たりません。

419号記事の一部に写真が掲載され始めました。

423号(平成12年1・2月号)に寿会創立35周年総会の写真が表紙に初めて使用された。パソコンの普及に伴い482号(平成22年3・4月号)印刷版と並行して電子配信を始めた。

489号より発行回数を年4回(四季報)としました。

○投稿者・執筆者

恒例行事案内、ご挨拶、事務連絡等では紙面は埋まりませんから、歴代編集者は原稿集めに大変ご苦労されております。

山脇さん時代には「会員だより」「音楽鑑賞の豆知識」「中高年の健康のしおり」「公衆衛生読本」等を創設連載し、顧問(会社役員、元役員)、寿会会員、理事に輪番制で記事を依頼する等されて、それでも埋まらず度々自らの原稿で纏めておられます。

138号(昭51年)以降になると、まとまった投稿が増えて、西森源次郎さん他の「野村社長の思い出」13回、妹尾クニエさん「回顧録」10回、菊池富士雄さん「ヨーロッパのぞ記」6回、熊倉雄三さん「歌は世につれ」16回、「旅」32回、安田貞彦さん「アドベンチャー」等の連載があります。

その後は会員の増加と活動の活発化に伴い、記事の内容も多彩となり、多数の役員や会員の記事が現れ、サークル活動の始まり、広がりとともにこれらのレポートが新たに加わり、更に一般会員の投稿も増え、近年は支部の情報が加わってきたことから、一部の人の原稿に偏らない紙面づくりが出来るようになりました。

○特徴のある紙面

①寄稿者無く、山脇栄治さんの原稿で全てを埋めた事、4回(14・26・28・57号)

②97号(昭47年8月)生れ変わった日本、終戦記念特集。

天皇陛下のご詔勅全文並びに御前会議の様様これ以外記事なし。

③新人会員を顔写真入りで紹介

260号(昭61年3月)～353号(平5年12月)迄7年9ヶ月間、新人会員述べ370名を顔写真入りで紹介して後、止めております。

写真の有る人、無い人が出たり、また毎回多人数になったから止めたとか推定致します。

○歴代の編集担当者(責任者)

1号～221号(昭57年12月)まで約20年間を山脇栄治さん、

222～229号(昭58年8月)まで8ヶ月間を野谷松太郎さん、

230～254号(昭60年9月)まで2年間1ヶ月を鈴木忠さん、

255～311号(平2年6月)まで4年9ヶ月を野谷松太郎さんと浅野幸一郎さん、

312～338号(平4年9月)まで2年3ヶ月を浅野幸一郎さん、

339～360号(平6年7月)まで1年10ヶ月を石井新二さん、

361～396号(平9年8月)まで3年1ヶ月は吉田三郎さん、

397～454号(平17年7月)まで約8年間は田中義輝さん、

455～478号(平成21年7月)まで4年間は神輝彦さん、

479号～渡辺信久と継承されてきました。

寿会ニュース500号を記念して、
第1号の全文を掲載いたします

(昭和38年7月発行全4ページ)

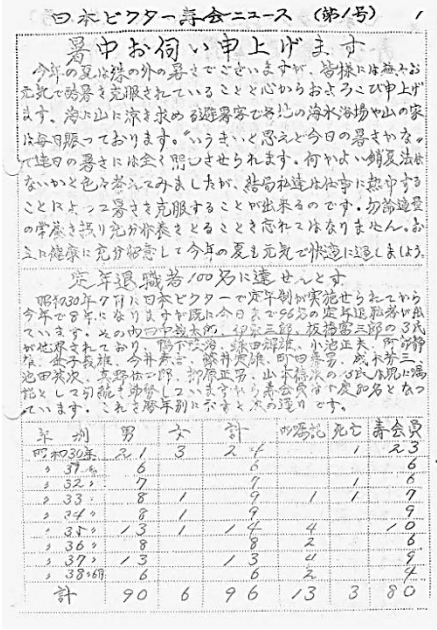
暑中お伺い申し上げます

今年の夏は殊の外の暑さでございますが、皆様には益々お元気で酷暑を克服されていることと心からおよろこび申し上げます。海に山に涼を求める避暑客で各地の海水浴場や山の家は毎日賑わっております。“いうまいと思えど今日の暑さかな”で連日の暑さには全く閉口させられます。

何かよい銷夏法はないかと色々考えてみましたが、結局私達は仕事に熱中することによって暑さを克服することが出来ることです。勿論適量の栄養を摂り充分休養をとることを忘れてはなりません。

お互いに健康に充分留意して今年の夏も元気で快適に過ごしましょう。

寿会ニュース第1号



寿会の発展と皆様の幸福を祈る

日本ビクター株式会社 社長 百瀬 結

青葉薫る今日、日本ビクター寿会の昭和38年度総会が開催されましたこと心よりお祝い申し上げます。

思えば昨年会社創立35周年を記念して有志の方々の御発案により結成されました寿会におかれましては皆様の溢れる友愛とビクターをお慈しみ下さる貴いお気持ちによりいよいよ充実発展の一路を辿っておられますことを心よりお慶び申し上げます。

昨今の経済界の様相は景気の基調は好転しつつあるとは申し乍ら市況は競争の激化に伴いその厳しさはまことに容易ならざるものがございますが、当社におきましてはお陰様をもちまして先輩の皆様が永年の御努力により築かれました貴重な歴史と伝統より生まれました世界に誇る優秀な技術とビクター精神を継承しました従業員の思いを一つにした真摯な努力により第二次五か年計画の第3年目を着実に歩んでおりますことを御報告させていただくことが出来ますことを心より感謝いたしますとともに陰に陽にわたる変わらざる御支援御鞭撻に対し茲に厚く御礼申し上げます。

何卒今後とも益々御壮健で御幸福にお過ごしいただきますとともに寿会が益々御発展御活躍下さいますよう心より祈念申し上げます。最後に会社に対し何卒相変わりませぬ御支援御協力を賜りますようお願い申し上げます、お祝いの辞に代えさせていただきます。(昭和38年5月19日伊豆山荘で開催の寿会本年度総会における祝辞です。当日は会社から及川人事部長はじめ浅野人事部第一課長、浅井、梅原の各氏が臨席されました。)

会員便り

各地で活躍されている会員の皆様からなつかしいお便りを寄せられましたので、ここにその一部を掲げ会員の皆様に御紹介いたします。

○その後はご無沙汰仕り誠に申し訳ございません。皆様にはお変わりもなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。当方もお蔭様で無事に過ごしております故御安心の程願申し上げます。

早速ですが私日本ビクターに再就職し現在熱海来の宮の元中山晋平先生宅に勤務しております。

実は早速ご連絡申上ぐべき筈の処種々雑用に追われ今日まで連絡申上げませんで何とも申し訳ございません。(中略) 気候不順の折柄皆様御自愛の程願上がます。(熱海市 真野伝四郎)

○梅雨の候毎日不順の日が続いております。皆様益々お元気で活躍中のこととお慶び申し上げます。私もお蔭様で元気に働いております故他事乍御安心下さい。毎度乍寿会のためにお世話下され厚く御礼申し上げます。

早速ですが会費同封いたし置きます。よろしく願います。会の皆様に今後ともよろしくご伝言下され度。

時候も益々不順ですから皆様にも何卒御身ご大切にして下さい。(大阪市 松本安治)

○いよいよ夏の季節と相成りました。このたびはご多忙中の折、色々とお世話様に相成ります。

いつも勝手ばかりいたしてお伺いもいたせませんので申し訳ございません。お許し下さいませ。会費100円送金いたします故よろしくお受取下さいませ。大変遅くなって申し訳ございませんでした。(横浜市 相馬竹次郎)

○寿会益々御清栄およろこび申し上げます。先般御通知頂戴仕りましたが参加出来なかったことを残念に思っております。今度会費御送付いたします御受納下さいませ。又、何れの折の会合には参加させて頂きます。何卒会員の皆様によろしくお伝え下るようお願いいたします。(東京都 石丸説蔵)

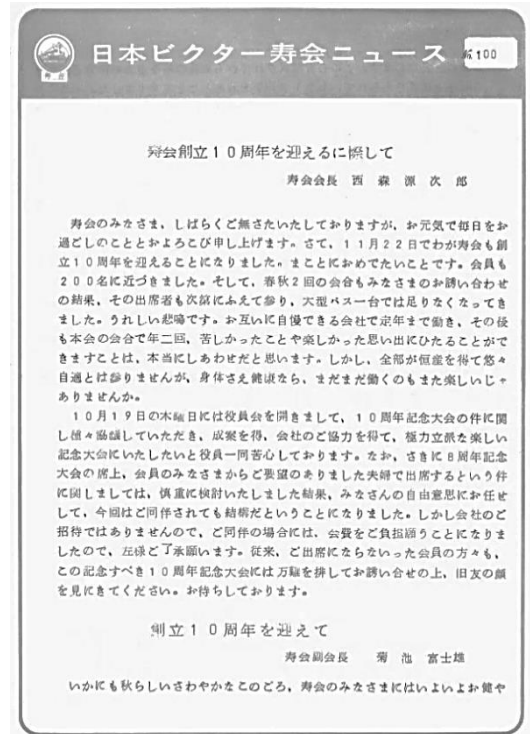
○初夏の砌愈々ご清祥の事とお慶び申し上げます。先般総会には都合により欠席いたしました悪しからずご了承下さいますようお願いいたします。慈許同封会費100円也御送付申し上げます。

何卒御査収下さるようお願い申し上げます。益々日本ビクター寿会の隆祥を祈り上げます。

(横浜市 松田利吉)

○毎日うとうしいお天気が続きますが皆様には益々ご健勝の御事とおよろこび申し上げます。

過日伊豆山荘でのお集りは前々から楽しみにしておりましたのに仕事の都合で出席出来ませず残念でございました。さて会費ですが大変遅れまして申し訳ございません。どのようにしてお送りしたらよろしいかと色々考えまして現金書留でと思ひまして細谷様に伺いましたら現金100円紙幣をその俣封筒に入れて送ったとのこと。ではうちでもそうしましようということになりました。先はおわびまで……(横浜市 関島保男)



定年退職者100名に達せんとす

昭和30年7月に日本ビクターで定年制が実施せられてから今年で8年になりますが既に今日まで96名の定年退職者が出ています。その内田中義太郎、伊東三郎、板橋富三郎の3氏が他界されており、鴨下隆治、鎌田輝雄、小池正夫、阿部静雄、金子義雄、今井春吉、藤井定雄、町田寿男、成木芳三、池田英次、真野伝四郎、柳原正男、山本徳次の13氏は現に嘱託として引続き勤務していますから寿会員は丁度80名となっています。これを暦年別に示すと次の通りです。

年 別	男	女	計	内嘱託	死 亡	寿会員
昭和30年	21	3	24		1	23
昭和31年	6		6			6
昭和32年	7		7		1	6
昭和33年	8	1	9	1	1	7
昭和34年	8	1	9			9
昭和35年	13	1	14	4		10
昭和36年	8		8	2		6
昭和37年	13		13	4		9
昭和38年6月	6		6	2		4
計	90	6	96	13	3	80

本年度分寿会会費納入者御芳名

42名 氏名省略

皆さんにお願い

会員の皆さん。みなさんが会社を定年で退職されてから今日までどうしてお過ごしになられたのか、そのお仕事と勤務先の会社名又は商店名並びにその住所などをお知らせ下さい。

別にお勤めになっていない方はその旨御一報願います。会としても会員の皆さんの動静を知りたいのですから是非お願いいたします。また会員の皆さんが重い病気にかかったり、何か変わったことがございましたらハガキでも結構です。ですからどうかお知らせ下さるようお願い申し上げます。

本会役員

会長：伊奈文夫 副会長：太田文一郎 副会長：菊池富士雄 常務理事：山脇栄治
 理事：白石軍治 理事：四本徹次 理事：田那辺安彦 理事：奥津 武 理事：吉沢勝三郎
 理事：鎌田忠蔵 理事：大西富蔵 理事：相馬竹次郎 理事：妹尾クニエ 監事：後藤由夫
 監事：加藤貞次郎 監事：斉藤永元

昭和38年7月発行 編集兼発行人 山脇栄治

寿会ニュース第200号



Victor No.300
日本ビクター寿会ニュース
 平成元年七月号

寿会創立二十七周年
 定期総会

本年度定期総会は六月八日(木)ホテルリッチ横浜にて二〇〇余名の会員が出席し、次の式次第により盛大に開催された。

式次第

一、総会
 司会 佐藤(悠)理事
 黙禱
 挨拶 河越会長
 同 垣木社長
 菅沼(芳祖)委員長
 長寿者のお祝
 河越会長
 同 古市(厚基)理事長
 長寿者挨拶 田所信吉

二、懇親会
 新会員紹介
 閉会

議事
 決算・予算報告
 監査報告
 一般経過報告

議長 河越会長
 横尾副会長
 鈴木監事
 長島常務理事

野谷副会長
 高野副社長
 及川副会長

- 1 -

Victor JVC 日本ビクター寿会ニュース
 No.400 平成9年12月号

秋の親睦旅行を開催

恒例の秋季親睦旅行を、去る10月23日～24日、1泊2日の行程で、栃木県は平家の里で知られた「高西川温泉」に会員 125名、ご来賓、人事部応援者各3名、合計 131名が参加して開催されました。両日ともに穏やかな日差しに恵まれ、彼の地は丁度、錦秋鮮やかな時期でもあって渓谷の美しい眺めを堪能しました。

宴会に先立ち、渡辺会長ご挨拶、ご来賓の武田(人)部長殿から、ご挨拶並びに守備社長殿のご祝辞を披露頂き、併せて祝金を頂戴致しました。

次に近く退任予定の山内(厚基)常務理事殿よりご挨拶とともに後任の西川常務理事殿のご紹介がありました。

お元氣な野谷顧問のご発声で乾杯を済ませ、囲炉裏を囲んで、野趣豊かな料理とお酒と良き友と団樂の楽しい時を過ごし、カラオケも終わった所で、大角副会長の中締めによりお開きとなりました。

帰路は、「平家の里」から「五十里湖」を見物し、予定通り、全員無事に、夕暮れの横浜に早めの帰着を致しました。

終わりに、周到な計画を立案し、実施して頂きました、ビクター興産旅行部の方々、お世話頂いた(人事部)の方々、車両長や演芸を担当された寿会役員各位に厚く御礼申し上げます。

次に当日頂戴した、守備社長殿の御祝辞をご披露させて頂きます。

日本ビクター株式会社
 社長 守備 武雄

400号記念特集

日増に秋も深まり、美しい紅葉の季節となってまいりましたが、寿会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

本日は、寿会創立35周年を迎えられて、恒例の秋季親睦旅行が盛大に開催されましたことを、心よりお祝い申し上げます。

5月の記念総会には出席させていただき、皆様のお元氣でご活躍されております様子を拝見し大変嬉しく思っております。

本年は日本ビクターも創立70周年を迎え、国内では先月、東京と大阪で70周年記念総合「VICTOR AV & Multimedia 21」を開催し、

- 1 -

将棋大会開催

上信越支部

囲碁・将棋サークル 飯塚 千明

平成25年11月13日(水)、吾妻川の畔に湧き出る小野上温泉「SUNおのがみ」その静かな渋川市営公共の宿で、毎年恒例の第22回将棋大会を開きました。

囲碁・将棋サークル会員は27名で、参加者は7名(例年10名以上)と少人数ですが月例会とは違う緊張感で対局が開始された。将棋レベルがどんぐりの背比べということもあり、白熱した熱戦が展開されました。熱戦の後には、肌がつるつるになる美人の湯に浸り、郷土料理を味わいながら熱戦の反省会とその他、各々ユニークな話題でくつろいだひと時を過ごしました。

優勝者の飯塚千明さんコメント、調子が良い時と悪い時の差があるのですが、今回は手筋が読め大会参戦7回目にして幸運にも初優勝しました。

トーナメント戦の成績は、(敬称略)優勝:飯塚千明、準優勝:高田辰郎、第三位:渡邊秀達、宮下健一の方々でした。翌日は、朝食後に解散し紅葉の山道を満喫しながら帰途につきました。

- ◇ 参加者は、(敬称略) 7名。
- 前列左: 宮下健一、竹井進、畑本利一、渡邊秀達、
- 後列左: 飯塚千明、白井達郎、高田辰郎。



2013 11 13

平成25年度秋季親睦会開催

奥 啓司

上信越支部では、平成25年10月9日（水）～10日（木）季節外れの夏日が続く伊香保温泉「秀水園」にて、支部恒例行事【温泉と共に楽しむ親睦会】を群馬県外からの4名を含む30名の参加者で開催致しました。

親睦会は幹事（阿部、松下、宮嶋）の進行で、初めに南場支部長よりビクター寿会会長関 毅様から頂きました心温まる盛会祈念メッセージが披露されました。その後、部屋別カラオケ大会に移り女将、若女将、仲居さんの特別サポートを得て、白熱した熱唱が続き高得点続出の優勝争いとビンゴゲーム、ラッキーシー等の多彩な内容を満喫しつつ、旬の味覚を味わいながら有意義な時間を過ごしました。

渡邊秀達さんによる中締めの後には、地酒を酌み交わす人、囲碁将棋、カラオケ等各自の好みに合ったグループに分かれ深夜まで相互の親交と益々の健勝を誓いあいました。



◇参加者は、（敬称略） 30名。

後列左から 松岡参男、坂本光雄、白井達郎、須永 進、宮嶋良介、呉林 隆、安田延幸、
桑田 泓、内田忠行、佐藤公見、竹井 進、三館満雄、高田辰郎、山崎令氏、
中列左から 泉川 斌、桑波田敏勝、村田全陸、伊東由辰、奥 啓司、
前列左から 村松 廣、松本 茂、佐々木克夫、阿部庄三郎、斉藤秀昭、南場六次郎、
上田一夫、安川嘉一、渡邊秀達、北沢邦彦、松下武夫。

寿会秋季ゴルフコンペ開催

三村 益一郎

10月24日(木)ノーザンカントリークラブ上毛ゴルフ場にて寿会上信越支部秋季ゴルフコンペを開催しました。数日前から台風27号の影響を気にしつつ台風接近の前日、朝の天気予報では小雨がぱらつく程度との情報得て参加者は29名集まりました。

8時30分過ぎにスタートし、当初は雨の中どうなることかと心配しましたが参加メンバーの願いが通じたのか2ホール過ぎた頃から雨も上がり、本大会にふさわしい絶好のコンディションに回復し、各自思い思いのプレーを楽しむ事ができました。

◇ コンペ成績 (以下敬称略)

優勝： 長谷川 光雄 GR 87 HD 15 NET 72 (年齢上位)

準優勝： 八巻 正 GR 77 HD 5 NET 72 (バスグロ賞)

第3位： 三村 益一郎 GR 84 HD 11 NET 73

飛び賞： 5位 坂本光雄、ラッキー7 村松 廣、10位 宮沢良治、15位 粒良浩久、
20位 平野英雄、25位 飯塚千明、ブービー 原 英一

◇ 入賞者のコメント： 優勝者の長谷川光雄さんは、宮沢さん、渡邊さんの同伴競技者に恵まれ、しぶかわカントリー以来10年振りに優勝できました。8月のB/Bが良い起爆剤となり、当コースに4回ほど練習ラウンドに来ました。その結果が出たのではないかと考えています、今日はありがとうございました。準優勝者の八巻正さんは、今回は目標の70台を出す事が出来ました。同伴競技者にも恵まれ、気楽にプレーできました。ありがとうございました、これからもよろしくお願い致します。



<写真は>

左側は準優勝

八巻さん

中央は優勝

長谷川さん

右側は3位

三村さん

◆ 参加者は、 29名。(敬称略 アイウエオ順)

阿部庄三郎、飯塚千明、石原利久、泉川 斌、上田一夫、上田澄江、奥 啓司、勝又好夫、北村節子、坂本光雄、高田辰郎、高山博光、粒良浩久、永井誠二、南場六次郎、長谷川光雄、畑本利一、原 英一、平野英雄、松本 茂、三村益一郎、村松 廣、宮沢良治、安田延幸、安田久代、八巻 正、山田 徹、若松英夫、渡邊秀達。

第37回 ゴルフコンペ

堤 斌

◇開催日：平成25年9月18日（火）

◇場 所：リバーサイドフェニックスゴルフクラブ

◇参加者：14名

◇入賞者：優勝 堤 斌（グロス114 ネット74）

準優勝 尾崎節夫（グロス92 ネット76）

第3位 青山英夫（グロス90 ネット77）

ドラコン 白倉洋平、吉井充彦、

ニアピン 関根 徹、難波信之、青山英夫、田辺幸男

◇コメント

連日の猛暑と台風18号の進路が心配されましたが、台風一過絶好のゴルフ日和にめぐまれ楽しくゴルフが出来ました。

コースは荒川の河川敷ですが適度に打ち上げ、打ち下がりがりがありチャレンジに富んだコースでした。

久しぶりに多くの参加者があり、幹事の提案で新ペリア方式でのプレーすることに決定。プレー開始。成績は上記の通りですが、いつもブービー又はブービーメーカーの私が優勝ですと呼ばれて大変びっくり、新ペリア方式による運に恵まれた結果となりました。

◇参加者は、（敬称略） 14名。

前列左から 白倉洋平、青山英夫、尾崎節夫、吉井充彦、深瀬彦弥、

後列左から 難波信之、望月勇紀夫、関根 徹、西 泰男、西沢清美、田辺幸男、堤 斌、井町勝美、坂井敬一。



第49回 歴史サークル例会開催

当番幹事 宇田川 修彦

雲一つない晴天の9月27日（金）JR市ヶ谷駅に午前9時集合したメンバー18名は、歩いて10分の防衛省の見学に出かけた。

都内で2番目に高い海拔31mの市ヶ谷台地23haに、官庁として最大の防衛省が伽藍建築をモチーフに、平等院鳳凰堂を模した大回廊と迎賓館をイメージした銅瓦葺緑青色の建物群に1万人が勤務している場所があります。敷地内には「市ヶ谷記念館」があり、昭和21年からの東京極東裁判の法廷や旧陸軍大臣室、陛下の休憩室などが復元されており見学ができます。三島由紀夫が「盾の会」で立てこもり、アジ演説し割腹自殺した所として記憶にある建物です。今回は自衛官殉職者の慰霊塔のあるメモリアルゾーンも見学して来ました。

見学後は、有楽町線でヘルシーレシピ本520万部を売り上げた「タニタの社員食堂」で、昼食を予定しましたが待ち時間90分とのことで取りやめ、有楽町国際フォーラムで済ませた。後、旧東京中央郵便局跡地に今年1月建設され開業した「JPタワー（KITTE）」に出向き、東京大学が所蔵する学術標本7000点が展示されている「インターメディアテク」を見学する。最後に東京駅内にある、原敬首相が暗殺された場所を見学して解散とした。勿論しっかりと健康確認会と称して二次会也大いに盛り上がりました。

◇参加者は、（あいうえ順の敬称略） 18名。

岩崎正憲、岩田芳秀、宇田川修彦、遠藤哲也、小澤敏宣、川股賢三、木頃勝紀、住田勝治、田代 周、中島公一、西長義方、西部修三、野田 佑、橋本裕一郎、平木行雄、藤井弘道、古屋榮三、牧田賢二。



第49回歴史サークル例会

防衛省 正門にて

平成25年9月27日（金）

世話役 平木 行雄

秋の深まりを感じる11月9日(土)、千葉支部と歴史サークル共催の秋催事に17名の方に参加頂きました。

今年度は、ガイド付き「はとバス」を利用した「横浜・鎌倉いところどり」人気の日帰りコースだけあって、2台仕立てのバスは満員盛況の中、全コースの催行を無事終え事ができました。多くの思い出をお土産に、そして更なる寿会の絆に触れる事ができ世話役としても嬉しい限りです。

◇「横浜・鎌倉いところどり」日帰りバスツアーコース(行程)： 東京駅丸の内集合～出発～高速道路～三溪園(明星さん合流)～横浜中華街散策&「重慶茶楼」(昼食)～鎌倉円覚寺(参拝)～鎌倉鶴岡八幡宮(参拝)～小町通り散策(明星さん中座)～東京駅丸の着(解散)

◇今回のポイント： ①三溪園： 生糸貿易で財を成した実業家「原三溪」によって、1906年(明治39年)5月に公開された。17万5千㎡に及ぶ広大な庭園に、京都や鎌倉などから移築された歴史的に価値の高い建造物が巧みに配置。重要文化財10棟、横浜市指定有形文化財3棟は必見であった。素晴らしい菊花展も観賞でき時間が足りない位であった。

②中華街「重慶茶楼」での昼食： 善隣門から中華街通りを散策して、朝陽門近くの四川料理老舗「重慶茶楼」で昼食。土曜昼時と重なって多くの人出はさすが横浜中華街。オーダーバイキング飲茶の美味しさは紹興酒とも口に合って、皆さん食べ過ぎた様でした。

③円覚寺： 弘安5年(1282年)創建。開基は元寇の役に活躍した鎌倉幕府の執権北条時宗、開山は宋から来朝した高僧の無学祖元(仏光国師)です。創建の目的は蒙古襲来で戦没した多くの霊を敵味方なく弔うことでした。円覚寺は数度の大火に遭い、衰長微した事もありましたが、江戸末期に復興し、現在の基礎が出来あがった。今は坐禅会や夏期講座などに引き継がれて「心の寺」として親しまれている。遠い過去になりますが、日本ビクターに入社してすぐの新入社員研修を思い出しながらの散策となりました。

④鶴岡八幡宮： 源頼朝が鎌倉に幕府を開く100年以上も前の1063年(康平6年)に、頼朝の先祖源頼義が「源氏の氏神」である京都の「石清水八幡宮」を由比郷鶴岡に勧請したのが始まり。1180年(治安4年)鎌倉に入った源頼朝は、由比若宮を小林郷北山(現在の地)に武士の都市づくりの中心に据えた。1191年(建久2年)火災によって焼失するが、頼朝は若宮を再建するとともに、大臣山の中腹に上宮(本宮)を新造し、今日の姿(上下両宮)となる。鎌倉幕府滅亡後も「武士の神」として、足利氏、豊臣氏、徳川氏に崇敬された。

◇参加者は、17名。(敬称略)

(前列左)六角 学、明星好光、岩田芳秀、花岡秀男、白岩仙一、稲垣 巖、平木七重、西長義方、平木行雄。

(後列左)牧田健二、古屋榮三、住田勝治、野田 佑、市川 宏、川股賢三、藤井弘道、宇田川修彦。



第51回 ハイキングクラブ開催 「宿場町松戸市内の散策」

当番世話人 花岡 秀男

今年の天気は異常ですね。

10月12日（土）参加者17名がJR常磐線松戸駅に10時30分に集合しました。もう秋なのに最高気温が31.3°と残暑が厳しく、出発前に熱中症にならないよう、十分に水分を取る様にと注意を促しての出発となりました。

第51回ハイキング例会は、宿場町松戸市内の散策です。松戸の市制施行70周年記念と、没後100年最後の将軍徳川慶喜の実弟である徳川昭武の、国指定重要文化財「戸定邸」をガイド付きで見学しました。

また、隣接する千葉大学園芸学部キャンパス庭園も、戸定が丘緑の回廊ガイドの方々の説明を受けながら散策しました。ロックガーデンや防空壕の跡地や庭園（フランス式・イタリア式・イギリス風景式）それぞれのお国の特長が沈み込んだ庭園設計等を見学しましたが、環境維持管理が大変だと痛感しました。

その後、浅間神社の極相林、松戸神社、宝光院、善照寺布袋尊（七福神）を散策して終了しました。ご参加の皆様は、気持ちが若くまだ歩きたいと云う方もおりましたが、予定の2時40分に松戸駅で次回の再会を誓って解散しました。

◇参加者は、（敬称略） 17名。

青木 登、岩田芳秀、遠藤哲也、川股賢三、木頃勝紀、白岩仙一、住田勝治、芹川時雄、芹川フサ子、中島公一、西長義方、野田 佑、蓮田周男、古屋榮三、山田昌之、六角 学、花岡秀男。



第51回 ハイキングサークル例会

戸定が丘庭園にて
平成25年10月12日（土）

『第57回 JVCグリーンクラブコンペ』開催

代表幹事 芹川 時雄

JVCグリーンクラブの平成25年度後半2回目の定例コンペを、10月11日（金）に『白鳳カントリークラブ』で開催しました。

この会場は、2011年9月に開催したコースで、今回が3回目の開催となりました。ハザードのバンカーが多いコースとしても有名です。この時期とは思えない高い気温と高湿度の中での開催となりましたが、参加者4組13名は全員が無事にホールアウトできました。今回のコンペ幹事は、前回優勝の市川 宏さんと松田守道さんでした。

結果は、 優勝 宮地秀幸さん（グロス：92 ネット：67）
 準優勝 渡辺 靖さん（グロス：101 ネット：74）
 第3位 稲垣 巖さん（グロス：93 ネット：77）

ベストグロ賞は、松田守道さん（グロス：91）が、ドラコン賞は、野田 佑さんと稲垣 巖さんが、ニアピン賞は、松田守道さん、柴田矩雄さん、渡辺 靖さん、市川 宏さんが獲得されました。ブービー賞は小生（芹川）が頂きました。

今回は、ゴルフ場からの協賛品と、小生の家庭菜園でとれた野菜を景品にしましたので、参加者全員が何らかのお土産を頂きました。

入賞者のコメントは、優勝者の宮地さんからは、前回初出場で暫定HDCPを25も頂き、このHDCPなら2回目は優勝できるかなと狙っていた。狙い通りに優勝できてとても嬉しい。これからも宜しく。準優勝は久しぶりの出場での渡辺さん、優勝のコメントを考えて来たが、優勝できなかったのが残念（冗談）。家ではパターの練習をしていたが、実践では効果が出なかった。今日は練習していないショットが決まり入賞できた。次回も参加して楽しくやりたい。第3位の稲垣さんからは、今日は天気と同伴競技者と風に助けられて、パットが信じられないほど良く決まった。途中で優勝を意識したが少し届かなかったのが残念。とにかく、楽しくゴルフできたので満足している。との入賞者のコメントを頂きました。

次回のコンペ幹事は、規定により宮地さんと小生（芹川）が担当ですが、次回は宮地さんが所用の為参加できず、市川さんと野田さんにお手伝いをお願いしました。表彰式終了後、11月の開催予定を確認し、ミーティング終了後HDCP改訂を行い、盛況の内に散会しました。

■ 11月の開催予定： 11月 8日（金） 多古カントリークラブ 7：30スタート予定

◇参加者は、（敬称略） 13名。

市川 宏、野田 佑、船渡孝太郎、松田守道、遠藤哲也、柴田矩雄、稲垣 巖、岩崎正憲、藤井弘道、内田 裕、宮地秀幸、渡辺 靖、芹川時雄。



<第1組> 芹川時雄さん、松田守道さん、市川 宏さん、船渡孝太郎さん



<第2組> 渡辺 靖さん、遠藤哲也さん、岩崎正憲さん



<第3組> 野田 佑さん、柴田矩雄さん、宮地秀幸さん



<第4組> 稲垣 巖さん、藤井弘道さん、内田 裕さん

1組 芹川、松田、市川、船渡 2組 渡辺、遠藤、岩崎 3組 野田、柴田、宮地 4組 稲垣、藤井、内田

『第58回 JVCグリーンクラブコンペ』開催

代表幹事 芹川 時雄

JVCグリーンクラブの平成25年度最終の定例コンペを11月8日（金）に、『多古カントリークラブ』で開催しました。

この会場は、JVCグリーンクラブでは初めての開催となります。コースは、毎月多くのオープンコンペが開催されており、近隣では比較的人気の高いトリッキーなコースとして有名です。今回から、埼玉支部から前田芳秀さんがJVCグリーンクラブに入会され初参加となりました。

晴天に恵まれ、風も弱くゴルフ日和の中で、参加者4組14名はコースに苦戦しながらも全員が無事にホールアウトできました。今回のコンペ幹事は、前回ブービーの小生（芹川）と、応援で野田 佑さん、市川 宏さんで担当しました。

結果は、優勝 藤井弘道さん（グロス：95 ネット：77）

準優勝 市川 宏さん（グロス：92 ネット：79）

第3位 内田 裕さん（グロス：114 ネット：79）

ベストグロ賞は、光崎親一さん（グロス：92）、ドラコン賞は、前田芳秀さんと、市川 宏さん、ニアピン賞は、岩崎正憲さん、前田芳秀さん、遠藤哲也さんが2ホール獲得されました。ブービー賞は小生（芹川）が頂きました。

入賞者のコメントは、優勝者の藤井さんは、メンバーが上級者ばかりで緊張したが、スタートホールでパーがとれ波に乗れた。HDCPも18を頂いていたので優勝できた。次回も頑張ります。準優勝は市川さんで、幹事を担当で朝の準備運動もできずにスタートしたが、初コースで荒れることなく無難に乗り切れた。90を切りたかったが達成できなかったのが残念。第3位は内田さんで、とにかくHDCPに助けられて入賞できた。「ありがとう」と、コメントを頂きました。

次回のコンペ幹事は、規定により藤井さんと小生（芹川）が担当になります。

表彰式終了後にミーティングを行い、以下の項目を協議した。

② JGAのHDCP規程が変更になるが、グリーンクラブのHDCP規程を変更するか否か。

→ 結論：管理者の負荷を考えると、現状のHDCPシステムを継承するのが最良との結論。

②罰金（OB、3パット）の扱いを無くし、補填原資として賞金を減額したい。

→ 結論：優勝～3位、BG、BBの賞金減額を行い、罰金制度は26年4月開催から廃止。打合せ後、次回のHDCP改訂を行い、盛況の内に散会しました。

■ 4月の開催予定 4月11日（金） 場所未定で次回幹事で調整し、2月中旬頃に確定予定。

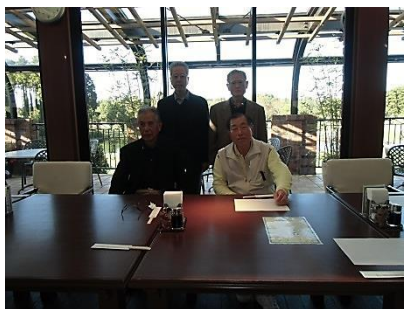
◇参加者は、（敬称略） 14名。

光崎親一、市川 宏、野田 佑、船渡孝太郎、松田守道、遠藤哲也、柴田矩雄、稲垣 巖、岩崎正憲、藤井弘道、内田 裕、渡辺 靖、前田芳秀（初参加）、芹川時雄。

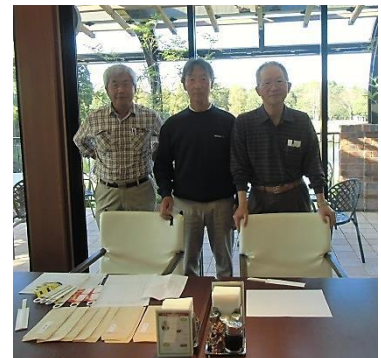
※ 会場の都合で全員の写真は撮影出来ませんでした



（朝のゴルフ場近景）



（パーティ会場で）



（今回の幹事）



県北ハイキング

第19回 秋のいこいの村・涸沼でパターゴルフ&日帰り温泉

西郷 治男

◇日 時： 平成25年11月9日（土）

◇参加者： 県北：12名、県南：2名、 計14名。（以下敬称略）

◇コース： 大洗鹿島線 涸沼駅 → 県道16号線 → いこいの村・涸沼 → パターゴルフ

朝から曇りで寒い気温の中、県北12名、県南2名の計14名が参加。午前9時15分に水戸駅に集合。県北メンバーは幹事より往復割引「漫遊キップ」を受け取り、9時半過ぎ大洗鹿島線に乗車し約30分で涸沼駅に到着。駅前で県南メンバー2名と合流し、10時にスタート、県道沿いの「しじみ御殿（しじみ採りの大富豪）」を眺めながら目的地へと直進し、10時40分いこいの村・涸沼に到着しました。例によって昼食担当（青木、西郷）は準備開始したものの、強風でコンロの火が消えたり、紙皿が飛ばされたりと大変。

他のメンバーはパターゴルフ場へ移動し、リーダー・石川さんの指示により3グループで順次プレイ。各ホールには世界の有名な建築物のミニチュアが作られており、昼食の関係から全18ホール中9ホールまでで熱戦を展開。正午には昼食・休憩、ビールで乾杯！となりテーブルには枝豆、焼鳥、味噌田楽、イカメンタイ等が並んだものの予想外の寒さからビールが進まず、日本酒パックを鍋に移しお燗して対応。一方、暖かい手作り豚汁はまたたく間に空になり、健康のこと趣味のこと等様々な話題で大いに盛り上がりました。

午後からは、本館2階で日帰り温泉「美人の湯」の入浴タイム。入浴料が自己負担のためか、希望者は5名だけで残るメンバーは和室控室で休憩。全員が揃ったところで、石川さんよりパターゴルフ表彰があり、優勝：三宅さん、準優勝：鈴木武さん、3位：赤津さん、5位：井坂さん、当日の日付から9位：鶴沼さんに各賞品、全員に参加賞：ドラ焼き&ビクターマーク入りピンバッジが渡されました。午後3時、玄関前で記念撮影の後、マイクロバスで涸沼駅まで送ってもらい、県南メンバーはここで別れた。県北メンバーは、大洗鹿島線に乗車し午後4時前に水戸駅到着して改札口で解散。

今回は短距離ながらパターゴルフなど楽しい企画で、久しぶりの仲間と元気な顔を合わせることが出来、有意義な1日でした。



（後列左から）鈴木（武）、青木、井坂、高石、石川、井上、三宅、中山、
（前列左から）赤津、熊谷、鈴木（誠）、高田、鶴沼、西郷の14名。

第13回「駅から散歩」開催
星川駅から「ほどがや区民祭り」

担当幹事 佐々木一三・鈴木隆雄

◇開催日時： 平成25年 10月19日（土）午前10時 相鉄線 星川駅集合

◇本日の散歩

本日の散歩スタートは、星川駅南口から歩いてすぐ、一直線の長い石段の目立つお寺が、日蓮宗光榮山法性寺です。皆さんと一気に登りきり、振り向くと横浜みなとみらい地区の展望が広がりました。更に坂道を歩くと横浜市を中心に川崎市、東京都町田市、稲城市などに72社が現存している杉山神社に到着。

このあたりから県立保土ヶ谷公園となり、本日は「ほどがや区民祭り」のメイン会場になっていました。

主催の保土ヶ谷区も最寄り駅の星川駅と会場を「無料バスの運行等」熱の入った区民祭りで、会場には、区民バザール・・・100を超える各種団体のブース出店。東北からも特別出店がありました。大変な人出のため団体行動が難しく、それぞれがお好みのブースを訪ねて楽しいひと時を過ごしました。

本日は、当「駅から散歩」に加藤憲一さん、武田 護さんに初参加をいただきました。

◇参加者は、（アイウエオ順、敬称略） 12名。

加藤憲一、熊倉達郎、今野之雄、佐々木一三、新谷則雄、杉浦徳太郎、鈴木隆雄、武田 護、出羽善武、弘海昭雄、前田房江、百瀬允秀。



第14回「駅から散歩」開催

西谷駅から戦国武将畠山重忠の史跡

担当幹事 鈴木隆雄・新谷則雄

◇開催日時： 平成25年 11月16日（土）午前10時 相鉄 西谷駅集合

◇本日の散歩

本日の散歩・スタートは、帷子川(かたびらがわ)とその上流の中堀川河畔の遊歩道と戦国武将畠山重忠の史跡を訪ねるコースでした。

保土ヶ谷区西谷駅をスタート、帷子川沿いの緑道を進み保土ヶ谷区と旭区の境に位置する田原橋公園にて全員で写真撮影。更に緑道沿いを進み、支流・中堀川沿いを北上し白根不動尊→白糸の滝(横浜市で最大)→白根神社参拝→白根公園で小休憩、そして重忠の史跡を訪ねる散歩へと続けました。小さな散歩道が続き、ここからは地元旭区在住の武田さん、井上さん（本月初参加）のご案内いただく散歩となりました。

畠山霊堂創建記念碑→重忠戦死の地（現薬王寺そば）→さかさ矢竹→首塚→首洗い井戸→鎧の渡しを見学。好天に恵まれ絶好の日和となり楽しい2時間の散歩も鶴ヶ峰駅で終了となりました。

◇参加者は、(アイウエオ順、敬称略) 16名。

井上 茂、熊倉達郎、今野之雄、佐々木一三、下條光輝、新谷則雄、杉浦徳太郎、鈴木隆雄、武田 護、出羽善武、中倉国男、平塚 直、弘海昭雄、前田房江、百瀬允秀、山本三樹夫。



2013年度 サークル活動 ～紅葉の鎌倉五山～

伊藤 恵美子

◇実施日： 2013年12月7日（土）

◇集合： JR鎌倉駅改札口 10:00

◇参加者： 14名。（敬称略）

大曾根 収（講師）、織田孝彦、景山康二、加藤苑生、菅野 敏、古林 茂、菅沼喜久次、多田 晋、飛田和男、福岡 満、南 健輔、山本三樹夫、渡辺信久、伊藤恵美子。

○ 鎌倉五山とは： 中国の南宗時代の五山官寺制度を、日本の鎌倉時代末期に鎌倉に臨済宗五山が列せられた。後に京都の五山が設置された。

1位 建長寺（北鎌倉）：（国宝）梵鐘、蘭溪道隆像、大覚禅師道墨跡

2位 円覚寺（北鎌倉）：（国宝）梵鐘、舍利殿（重文）仏光国師像他

3位 寿福寺（鎌倉）：（重文）地藏菩薩立像他3点

4位 浄智寺（北鎌倉）：（重文）地藏菩薩座像他1点

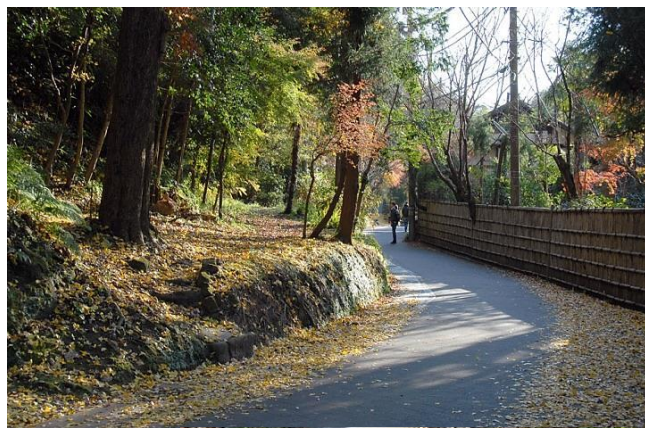
5位 浄妙寺（鎌倉）：（重文）木造退耕行勇像

○ コース概要： 鎌倉駅→（バス）→浄妙寺→建長寺→円覚寺→浄智寺→寿福寺→鎌倉駅

～鎌倉五山の歩き方～

今回の鎌倉五山散策は、約5時間（2万歩）歩きましたが、ゆっくり歩きたい方は「鎌倉」と「北鎌倉」を2回に分けて行かれると良いと思います。

円覚寺の境内には散策コースやお茶休憩所があり、浄妙寺では軽食も摂れます。又、常時季節の花々が咲き、もみじの新緑や紅葉など各自の楽しみ方で訪ねられてははいかがでしょうか！



甲州街道53里130%完歩！

竹島 久雄

平成23年11月東京・日本橋をスタートした「甲州街道ウオーク」が10月17日、目的地の長野県下諏訪宿の中山道との合流点にゴールインしました。(25年春季号に紹介)

毎月一回(第4木曜日)実施し天候不良で中止になったのは、今年6月の一度だけという幸運にも恵まれましたが、なによりも参加12名が延べ22回に亘り一回平均13km強のウオークを、途中離脱する者もなく事故・トラブル皆無で完歩できたことで、参加者全員が大いなる達成感と有形無形の財産を手に入れました。

当初計画の53里44次(宿)211kmのウオークは、途中立ち寄りが豊富で結果的に286kmになりました。街道から反れて立ち寄った史跡、由緒旧跡などが如何に沢山であったかがわかります。すべて日帰りが前提でしたので17回目からは、毎回八王子発6時30分の電車を利用することになりましたので、往復に5~6時間というまことに長閑なところもありました。

スタート前は、半信半疑で参加を決めたメンバーも居たようですが、回を重ねるたびにその魅力に嵌ったかのように、積極的に参加されるようになってゆきました。都合で欠席になったコースを後日単独で踏破する方も複数ありました。

街道ウオークを成功に導いてくれたのは、発起人でもあり資料作成者でコースガイドでもある中島征雄さんの熱意と行動力に因るところが大でした。数ヵ月先行して、コースを下見し独自のコースガイドを作成して、当日のウオークがスムーズに実施できるように、万全の準備でリードしてくれました。メンバー夫々が、数々の思い出を抱いて完歩した訳ですが、これを「カタチ」にしてくれたのが前北勝司さんです。コースガイドを基に、豊富な写真と歩行データなどを満載した、小冊子三部作を制作してくれましたこと、メンバーのなによりの財産となりました。

◇参加者は、(順不動、敬称略) 12名。

相原教男、浅見憲一、伊藤泰弘、宇山治男、折本文夫、嶋崎 猛、竹島久雄、中島征雄、中田信義、前北勝司、三浦繁雄、八木関三。

※ 全22回の写真集、GPSデータ等と共に寿会HP多摩支部サイトをご覧ください。

<http://jvckoto.news-site.net/kotobuki/tama.html>



(代) 嶋田 稔

－例会－

夏季（7月～9月）旬間賞は定藤さんが獲得されました。今回は例年に比し例会参加回数も増え、毎回熱心に対局に取り組まれたことが好成績につながったものと思われます。

7月から11月の例会は合計21回開催し、延べ187名の方々が参加されました。

－囲碁大会－

恒例の寿会囲碁大会を10月27日（日）に横浜の囲碁サロン「神奈川県囲碁センター」で開催いたしました。

成績優秀者は次の通りです。（敬称略）

	優勝	準優勝
A組	川崎 育夫	岡田 幸吉
B組	伊藤 孝	春日 昌広

A組優勝の川崎さんは久しぶりのご参加でありながら、この間の自己研鑽が進まれたものと思われる今回優勝を勝ち取られました。

B組優勝の伊藤さんは長年に亘り参加されているベテランであり、日頃の実力が遺憾なく発揮されたものと思われます。

再チャレンジ戦では、A組が池田 友さん、B組は伊藤 孝さんが、それぞれ「ねばり」を発揮して敢闘賞を獲得されました。

なお、今大会には次の19名の方々が参加されました。（敬称略）

忽戸栄浦、池田 裕、新谷則雄、岡田 暁、岡田幸吉、高橋聡一、川崎育夫、松本 築、岡部幸夫、山本三樹夫、高橋 廣、伊藤 孝、松田文男、松尾浩昭、春日昌広、宮崎俊充、三木吉弘、吉田親司、中倉国男。

－納会－

平成25年の一年打ち収め対局と懇親会を主とした、納会を神奈川県囲碁センターで開催致しました。なお、例年行っている年間表彰は、今月末の年間データの〆を待って、明年1月の例会で行うことになりました。

(1) 一年打ち収め対局

参加者全員の自由組み合わせによる対局

(2) 懇親会

冒頭、長年に亘り当サークルの一員として、地道に活動されました川上さんのご逝去を悼み黙祷を捧げました。後、懇親会に入り、囲碁談議で大いに盛り上がり散会となりました。

なお、今回の納会にはつぎの10名の方々が参加されました。（敬称略）

池田 裕、岡田幸吉、岡田 暁、新谷則雄、高橋聡一、高橋 廣、中倉国男、橋本呈次、松本 築、山本三樹夫。

◎ ご報告

長年に亘り、当サークルの活動報告を主とした記事を毎号掲載して参りましたが、今回をもってこれを終了させていただきます。今後その内容については、写真を主として掲載しております寿会HP（現在寿会ニュースと並行して同時掲載中）を、ご参照頂くようお願い致します。

第142回 寿会杯争奪コンペ

代表世話人 勝俣 文雄

世話人 近藤 正、長岡 忠

ゴルフ日和に恵まれた中、平成25年の年間優勝者を決める第142回寿会ゴルフコンペを平成25年11月8日(金)大厚木CC桜コースで7組27名の参加で実施しました。

今年の各コンペで5位以内(一部繰上げあり)に入賞した有資格者17名で競う優勝トロフィーの争奪戦はグロス89、ネット65の見事なスコアを出した北川利昭さんが優勝されました。準優勝はグロス77、ネット71のスコアを出した実力者の坂本共男さんでした。

1. 参加者は、27名。(以下敬称略)

井上 茂、今泉信昭、牛方不怠、越後彰久、遠藤 功、大倉義教、大竹 守、大谷充流、勝俣文雄、北川利昭、倉島賢二、古林 茂、近藤寛治、近藤 正、坂本共男、佐古静考(新規)、柴崎 等、高橋喜久十郎(復帰)、角守邦彦、長岡 忠、中村寿男、古家 計、三澤誠一、宮崎孝志、村川治男、吉田親司、渡辺信敏。

2. 成績結果

優 勝 北川 G 89、HD 24、NET 65

準優勝 坂本 G 77、HD 6、NET 71

3 位 古家 G 82、HD 11、NET 71

4 位 今泉 G 81、HD 9、NET 72

5 位 井上 G 88、HD 16、NET 72

当日賞(8位) 中村 NET 74、 BB賞 大倉 NET 91、

飛 賞: ラッキー7 三澤、10位 勝俣、15位 古林、20位 牛方、25位 長岡

ドラコン 遠藤、宮崎、坂本、中村

ニアピン 古家、牛方、古家、坂本、佐古、越後、近藤正、勝俣

ハーフBG イン 宮崎41、アウト 倉島42

シニアハーフBG イン 古谷40、アウト 坂本38

ネットエージシュート 北川65、古家71、今泉72、中村74、高橋76

3. 優勝者コメント要旨: 北川利昭さん

天候、メンバーに恵まれ、またシルバーティーに恵まれ、とんでもないスコアが出て喜んでます。メンバーに指導してもらい、1パットのパターが多くありスコアに結び付きました。これからも精進して頑張ります。

4. 準優勝者コメント要旨: 坂本共男さん

ゴルフスイングの理論が変わってきています。アドレスの体重は5対5と言われてきましたが、最近タイガーウッズは左足に体重を乗せている。左足に体重を乗せる練習をして良かったと思います。皆さんも練習で試してみてください。



勝俣さんと優勝者の北川さん

◇次回の開催は平成26年3月14日(金)8組予定です。

◇平成26年の年間計画は、

3月14日、5月16日、7月11日、9月19日、11月14日です。

沢山の方々の参加をお待ちしています。

第569回 日向薬師 Cコース

根井 淳

◇催行日 2013年9月18日(水) 天気 晴れ

◇コース

小田急 伊勢原駅9時30分集合 日向薬師行きバス9時45分発
 バス停洗水(あろうず)下車→洗水彼岸花群生地→かながわの古道日陰道→日向薬師上公園
 →日向薬師参拝→バス停日向薬師→伊勢原駅

◇参加者 24名(敬称略)

高橋 廣、滝 静男、田中 光義、古川 正、中倉 国男、後藤 孝、山本 三樹夫、
 城市 靖三、井澤 章、船坂 栄一、太田 一穂、菊池 譲三、則岡 和雄、斉藤 豊二、
 渡辺 信久、弘海 昭雄、土居 修治、乾 紀美子、平野 猛、加藤 博紀、新谷 則雄、
 景山 康二、多田 晋(リーダー)、根井 淳(記)

◇メモ

伊勢原駅北口から15分で洗水(あろうず)バス停に到着する。バス停脇の広場にて多田リーダーにより本日のコースの案内と、念入りな準備体操をおこなう。

一昨日の18号台風一過の好天のもと、彼岸花(曼珠沙華)の観賞と日向薬師を目指し、10時10分スタートする。程なく、洗水地区の彼岸花群生地に到着する。今年の彼岸花の開花は、例年より早いとのことで、田圃のあぜ道沿いの群生はほぼ5分咲きで、十分に楽しめることが出来た。

彼岸花を眺めながら、あぜ道を進む。洗水の彼岸花群生地をあとにして、バス通りに出て高橋バス停を左折し日陰道に入る。この日陰道は、‘かながわの古道50選’のひとつで、両側田圃、畑に挟まれた古道のわきも随所に彼岸花の群生が見られた。日陰道を抜け神明橋を渡り車道を右折し七沢方面へ進む。

11時35分日向薬師上の公園に到着し、公園周囲に咲く彼岸花を見ながらの昼食休憩とする。

12時15分公園を出発し、日向薬師に参詣し(ただし、日向薬師修復工事のさなかで工事シート越しの参詣となった)参道の急な階段を降り日向薬師バス停に到着する。

バス発車までの時間を活用しバス停周辺の彼岸花観賞をおこなう。一昨日の台風の影響か折角の稲穂がかなり倒れていた。13時40分に伊勢原駅に24名全員無事に到着し解散となる。



日向薬師境内にて



洗水の彼岸花群生

第570回 鍋割山 Aコース

◇催行日 2013年10月9日(水) 天気 曇のち雨

◇コース

小田急 渋沢駅8時集合 大倉行きバス8時12分発
大倉下車→二俣→小丸尾根→鍋割山→後沢乗越→二俣→大倉→渋沢駅

◇参加者 2名(敬称略)
山内 浩司(写真)、根井 淳(記)

◇メモ

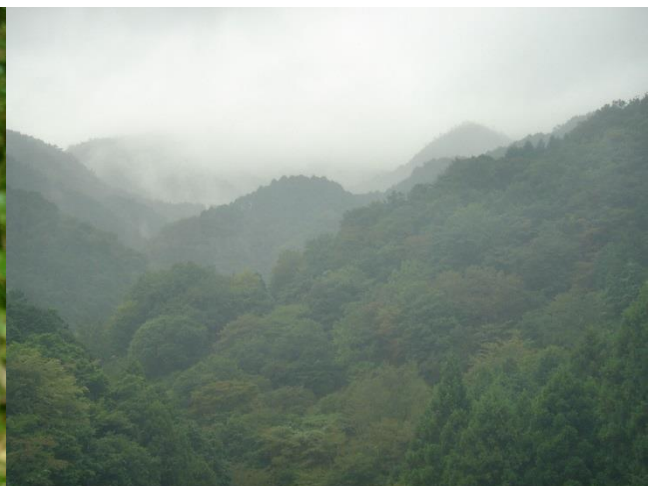
台風24号の影響か、一週間予定がずれたせいか集合時間の8時には、僅か2名の参加で、ハイキングサークル史上最少の人員となった。渋沢駅前はずまずの天候であったが、丹沢の山々は、雲に隠れかつ雲の流れも速い。バスも約10分遅れで到着し先行き不安なスタートとなった。

大倉にて、二人で簡単なミーティングと準備体操を行い8時40分にコスモスに見送られてスタートする。10時に二俣に到着し小丸尾根に取り付く。心配していた通り小雨となり、雨具(合羽)を装着する。歩を進めるが、雨の上がる兆候はなく雨風が徐々に強くなっていく。途中で下山する人とすれ違いに、尾根上の状況を訊くと相当荒れているとのことであった。さらに登って行くとますます風雨が強く、小丸手前であったが残念ながら引き返すこととする。12時10分、標高1250m地点でした。13時30分二俣に戻る。朝とは違い雨が強いので、立ちながらの昼食をとる。15時5分大倉に到着。雨も上がり雨具を脱ぎ一息つき、15時22分発のバスに乗り渋沢駅に戻る。

今回は残念な結果に終わったが、次回の鍋割山は好天で、大勢の参加になることを期待する。



イヌヤマハッカの花(犬山薄荷)



雨に煙る小丸付近

第570回 荒崎海岸 Cコース

福山 幸治

- ◇催行日 2013年10月9日(水) 天気 晴れ
 ◇コース 京急三崎口駅10時集合
 三崎口駅→円徳寺→佃嵐展望台→粟谷浜漁港→(変更)ソレイユの丘→荒崎公園
 →荒崎バス停→三崎口駅→解散
 ◇参加者 15名(敬称略)
 高橋 廣、菅沼喜久次、山本三樹夫、城市靖三、大曾根 収、川崎勝弘、高橋武久、
 弘海昭雄、土居修治、生江 勲、多田 晋、加部祥司、山本 治、新谷則雄、
 福山幸治

◇メモ

荒崎海岸は神奈川県三浦半島の南西部に位置する全長4kmある凝灰岩と真岩で出来た海岸である。又、自然が創造した美しい岩場が続く海岸でもある。この三浦半島屈指の景観を訪ねて今回のハイキングを実施したが、あいにくの強風と高波で一部コース変更せざるを得なくなった。

三崎口駅に集合したのは15名。一週間順延された為、いつもよりは少ない人数であったが高橋幹事の号令で早速スタートを切った。その後暫く閑静な住宅地を歩くと円徳寺に到着する。全員で祈祷してそれぞれの思いを願った。「何を願ったのかは分かりませんが人それぞれ違うんだな？」と思いつつ和田長浜海岸へ出た。やはり海岸では予想していた通り強風と高波で海は大荒れしていた。砂が舞い上がり顔に当たると痛いぐらいであったが、そこは頑張って歩き佃嵐展望台へ到着。

休憩を取りながら次のコースを検討。このままの状態(高波)では岩場を歩くのは無理と判断し、コースを変更して粟谷浜漁港からソレイユの丘へ行って昼食を取る事にした。昼食後、再び午後のコースを検討した結果、荒崎海岸の屈指の景観を楽しまないで帰ることは心残りが有る為、陸路荒崎公園に行くことにした。公園に到着後展望台から見た相模湾の景色と岩場に打ち寄せる白波とがいつもの絶景をつくって我々を楽しませてくれた。この景色を脳裏に焼きつけながら荒崎バス停から三崎口駅に向かって本日のコースを終了した。



ソレイユの丘



荒崎海岸

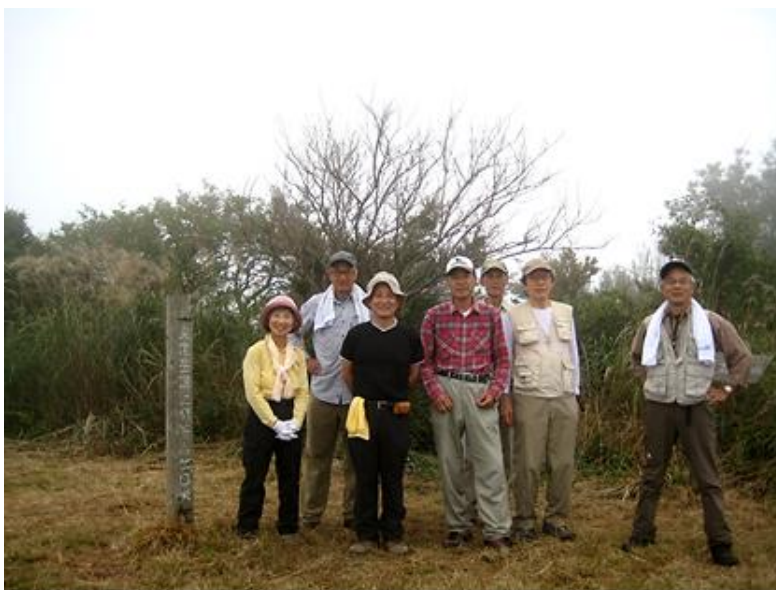
第571回 矢倉岳 Aコース

多田 晋

- ◇催行日 2013年10月23日(水) 天気 曇り
- ◇コース 小田急新松田駅8時30分 or 関本9時集合
新松田駅(8:45発) → (バス10分) 関本 → (バス11分) 矢倉沢バス停 → 矢倉沢公民館 → 白山神社 → 矢倉岳 → 山伏平 → 地藏堂 → (バス25分) 関本
- ◇参加者 7名(敬称略)
山本三樹夫、高橋 武久、生江 勲、多田 晋、小池由美子、山内 浩司
根井 淳

◇メモ

関本バス停9時5分発地藏堂行きの路線バスに山本さんと2人で乗る。このバスの始発駅新松田駅から乗車してきた5名と合流、今日の参加者は7名となる。矢倉沢バス停に9時18分到着、バス停前方右手前の矢倉沢公民館でミーティングとストレッチ体操をする。午後から小雨が降るとの天気予報があり、早め早めの行動をとり、雨が降る前に下山する事を打ち合わせる。9時35分歩行を開始する。歩くこと間もなく満開のひまわりとピンクの蕎麦の花が我々を迎えてくれた。風がなく蒸し暑く大汗をかいたが、順調に歩を進め11時22分に矢倉岳頂上に到着する。ガスが掛かっている中、集合写真を撮り山伏平に向かう。計画表ではここから足柄峠経由で地藏堂へ下山する事となっていたが、雨の心配もあり直に地藏堂へ下山する。途中台風26号の影響で増水した沢を苦勞して渡ったが12時5分無事に地藏堂へ到着する。ここで遅めの昼食を摂り13時25分発関本行きのバスに乗車、13時50分関本に到着ここで解散となった。



矢倉岳頂上(870m)



カマズミの実

第571回 江の島散策 Cコース

福山 幸治

- ◇催行日 2013年10月23日(水) 天気 曇り
- ◇コース 小田急片瀬江の島駅 10時集合
片瀬江の島→江の島一周(弁天橋→商店街→辺津宮→中津宮→奥津宮→植物園→江の島大師→恋人の丘→龍宮大神→稚児ヶ淵→岩屋→弁天橋→解散 option(龍口寺)
- ◇参加者 16名(敬称略)
滝 静男、後藤 孝、小倉通男、中平 勇、大曾根 収、則岡和雄、藤森文夫、川崎勝弘、斎藤豊二、渡辺信久、土居修治、加部祥司、平野 猛、山本 治、新谷則雄、福山幸治。

◇メモ

湘南の観光地、江の島。今回はぶらりと江の島一周の散策に出かけた。片瀬江の島駅に集まったのは16名。小雨の降る天気予報であったが、正面に映る緑の江の島を眺たら心がワクワクしてきた。早速、一行は江の島に向かって歩きだした。

今日は特別ガイドとして渡辺さんに江の島の知られざる歴史を教えてもらうことにした。片瀬浜から江の島弁天橋をゆっくり歩いて10分程度かかる。この橋は今昔があって明治以前には橋がなく満潮時、舟か渡し人に頼っていたらしく江の島の浮世絵から想像して干潮時には歩いて渡れたようである。そんな橋を渡ると江の島入口に青銅の鳥居が我々を迎えてくれた。鳥居をくぐると、みやげ物店が賑やかに並ぶ参道が続いた。昔懐かしい物品を覗きながらぶらぶら歩いていると正面の赤い鳥居に到着した。此处からは江の島神社境内で辺津宮・中津宮・奥津宮の3宮が点在している。

見どころは辺津宮の奉安殿にある「裸弁財天」や奥津宮の拝殿にある「八方睨みの亀」、心静かに耳を立てて聴く「水琴窟」などがある。江の島神社のほかに植物園のシンボル53.7メートルの展望台や江の島大使に展示されている中国刺繍仏画も見どころだ。更に我々は「龍宮大神」で祈願して「龍恋の鐘」でハイキングサークルの結束を永遠になるよう鐘を鳴らした？

見どころの最後は、北西部に位置する「岩屋」である。今回岩屋には入場せず入口で洞窟内を眺めただけで終わりとした。岩屋の周りに広がる岩場は打ち寄せる波で立ち入り禁止となっていた為、昼食は「稚児ヶ淵」で摂りながら大波や海原を楽しんだ。昼食後は裏参道を通って再び江の島弁天橋へでた。今回のハイキングは普段さり気なく見学していた処でも名ガイドの案内と説明で江の島が良く理解できたと思う。解散後、有志で龍口寺に赴き鎌倉唯一の五重塔などを観て戦国時代を回顧した。



第572回 鷹巣山・浅間山 Bコース

根井 淳

◇催行日 2013年11月6日(水) 天気 晴れ

◇コース

箱根登山鉄道 箱根湯本駅9時30分集合 畑宿行きバス9時45分発
畑宿下車→飛龍の滝→鷹巣山→浅間山→千条の滝→小涌谷駅

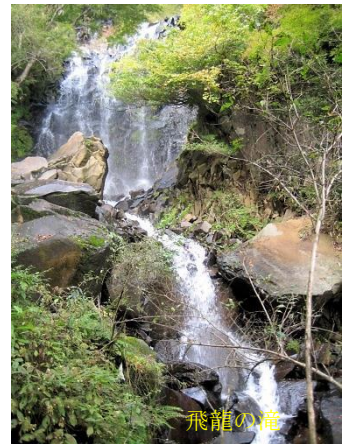
◇参加者 10名(敬称略)

滝 静雄、大曾根 収、川崎 勝弘、土居 修治、南 健輔、多田 晋、小池 由美子、
加部 祥司、山内 浩司(写真)、根井 淳(記)

◇メモ

定刻集合し、箱根湯本駅をバスで出発して10時過ぎに箱根寄木の里 畑宿に到着する。バス停脇の駐車場にてミーティングをおこなう。山内リーダーより前半はAコース並みの登りがあるなどコース説明があり、川崎さん指導の下入念な準備体操を行い、10時15分爽やかな秋空のもと出発。結構大変な急坂を上ること45分、飛龍の滝に到着する。

このあたりで、他の二三の登山グループとも遭遇する。この滝は、上段15m、下段25mの2段に分かれて流れ落ち水量も箱根の山中とも思えないほど多く、迫力抜群の光景であった。飛龍の滝をあとにして、さらに30分登ると湯坂道の起点に出た。ここからは平坦な道が続き、ススキでおおわれた鷹巣山山頂(834m)に12時到着する。鷹巣山から急傾斜に注意を払いながら一度下り浅間山に向かう。途中では、野菊や季節外れのアジサイ、竜胆などが咲いており気を和ませてくれる。



12時25分浅間山(802m)に到着し、昼食タイムとする。13時過ぎにグループを標準グループ(プランどおり)と健脚グループ(湯坂道を下り、箱根湯本に向かう)に分けて、それぞれスタートする。千条の滝(ちすじのたき)に向かう下りは急で、根株が出て注意が必要だ。約30分で千条の滝に出る。この滝は飛龍の滝のような迫力はなく、湧き水がいく筋も流れ落ちる繊細な滝である。この後、15分で小涌谷駅到着し14時に無事解散することができた。今日は天気にも恵まれたハイキング日和で、わずかな発汗と、微かな筋肉痛、ちよっと早い紅葉を楽しむことができた。

なお、箱根湯本駅で標準グループと健脚グループが、予定どおりか、偶然か合流できた。



浅間山の頂上



竜胆

第572回 東生田の自然歩道 Cコース

福山 幸治

- ◇催行日 2013年11月6日(水) 天気 晴れ
- ◇コース 小田急線読売ランド前駅 北口 10時集合
読売ランド前駅→土淵不動院→日向山の森→北野天神社→専修大学→生田緑地→
枅形山展望台→長者穴横穴墓群→向ヶ丘遊園駅→解散
- ◇参加者 25名(敬称略)
高橋 廣・田中光義・古川 正・後藤 孝・菅沼喜久次・城市靖三・井澤 章・
山田勢津子・太田一穂・菊池譲三・則岡和雄・藤森文夫・高橋武久・渡辺信久・
戸川照子・弘海昭雄・生江 勲・乾 紀美子・橋本 勝・平野 猛・加藤博紀・
新谷則雄(リーダー)・弘海愛子・川崎育夫・福山幸治(記)

◇メモ

川崎市は東京都と横浜市に囲まれた細長い都市で、人口約144万人の大都市である。川崎市は7区域に分かれその一区に多摩区があり約20万人が暮らしている。

多摩区は北側に多摩川が流れ、南部には多摩丘陵が広がる水と緑があふれた街である。更に区内には専修大学・明治大学・日本女子大学の3つのキャンパスが立地しており約2万6千人の学生が集う若者の街でもある。

今回のハイクは市内随一の規模を誇る生田緑地に足を運ぶことにした。早速、地図を片手にLet's Go。まずは日本女子大学前を通過して寺尾台緑地を見学しながら第一目的地の土淵不動院へ到着。住宅街から少し離れている為、参拝者はいなく閑静なお寺であった。休憩後東生田緑地の日向山の森へ向かった。ここは小さな森であるがちょっとした森林散策を味わえた気分であった。その後住宅街の路地を通りながら生田緑地へと向かった。途中北野天神社や専修大学を通過して目的地の生田緑地へ到着。ここで生田緑地にある主な施設を紹介しよう。まずは枅形山展望台・岡本太郎美術館・そして日本民家・バラ苑と多数の施設がひしめきあって点在している。やはり川崎市民の庭と言っても過言ではない。此处で昼食をとり集合写真を撮った。展望台からの眺望は素晴らしかった。今回のコースはこれでほぼ終了。帰路の途中で長者穴横穴墓群を見て、向ヶ丘遊園駅で解散となった。

このコースは非常に分かりにくい道順の為、地図を片手に歩いてみたが、道順を地図に記入する事が難しかった。



展望台正面にて



枅形山展望台全景

第573回 陣馬山 Aコース

小池 由美子

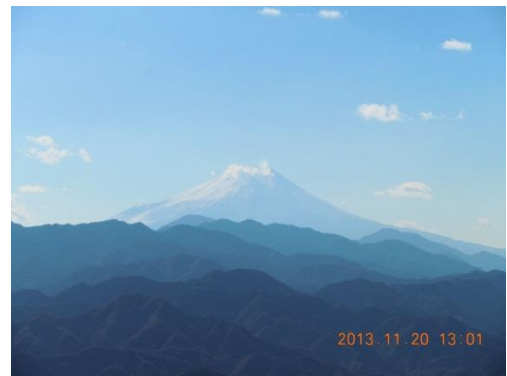
◇催行日 2013年11月20日(水) 天気 快晴

◇コース JR中央線藤野駅 9時40分集合
藤野駅→登山口→一の尾根コース→陣馬山→明王峠→与瀬神社→相模湖駅

◇参加者 5名(敬称略)
南 健輔、小池 由美子、山内 浩司、根井 淳、福山 幸治

◇メモ

藤野駅に5名が集まる。各自で準備体操をして、9時45分に出発。電車の踏切を渡り、トンネルをくぐり登山口まで30分で到着。ここから一の尾根コースを歩く。途中まではアスファルトの道だが、山道に入り紅葉の木々を眺めながら山頂を目指す。12時25分、白馬のモニュメントのある陣馬山山頂に到着。857mの標高なのに、展望は360度開け、富士山をはじめ南アルプス、丹沢、奥多摩、江の島と素晴らしい眺めである。ここで昼食を摂り、暫しの休息の後、明王峠から与瀬神社に下山、相模湖駅に15時15分に無事到着。ここで解散となった。



第573回 津久井湖・尾崎記念館 Cコース

橋本 勝

- ◇催行日 2013年11月20日(水) 天気 快晴
- ◇コース JR横浜線橋本駅9:30集合
橋本駅(10:22発バス)→小網→三井大橋→八幡神社→三井寺→東光寺→又野公園→尾崎罌堂記念館→新境橋→観音禅寺詠月寺→中野神社→日赤病院前→(バス)橋本駅
- ◇参加者 30名(敬称略)
高橋 廣・滝 静男・神 輝彦・後藤 孝・小倉通男・菅沼喜久次・山本三樹夫・城市靖三・大浦賢三・中平 勇・山田勢津子・太田一穂・則岡和雄・藤森文夫・川崎勝弘・斉藤豊二・高橋武久・弘海昭雄・土居修治・菅野 敏・多田 晋・吉本 稔・乾 紀美子・橋本 勝・加部祥司・松山暁紘・平野猛・加藤博紀・新谷則雄・古林 茂

◇メモ

今回は紅葉の秋、津久井湖・人知れず静かにめぐる湖畔と歴史探究/尾崎行雄(罌堂)の生涯に学ぶ、里山のみちを歩きます。

参加者30名を乗せ、バスの遅れもあって10:45分小網のバス停に到着。朱塗りのアーチ三井大橋のたもとで朝礼、併設された歩道橋(そよかぜ橋)より紅葉を楽しみながら歩くこと10分八幡神社に到着。小休止後、三井寺をまわり12時10分急斜面の高台にある東光寺の入口石段に到着。現在の本堂は昭和63年に改築、往時は護摩堂や庫裏があった様です。

名手橋より望む湖面に映える紅葉に見入り、昼食場所「又野公園」に12時45分到着、食事後集合写真を撮り、しばらく歩くと又野の三叉路脇に「尾崎罌堂記念館」があります。憲政の神様、尾崎行雄の偉大な生涯にふれる事が出来ます。館内に入り膨大な資料や説明員によるビデオを拝見しました。罌堂生誕の地、広い敷地前で記念写真。

14時10分次の目的地、奈良井地区の山麓に位置する「観音禅寺(仁王門)」を目指します。新境橋を渡り14時30分、町の重要文化財に指定されております仁王門をくぐり、境内にある急こう配な石段を登るとビューポイント詠月寺があり津久井湖はもとより遠く橋本の街まで眺望出来、皆感激に浸り疲れも吹き飛んだようです。帰途のバス停迄25分、途中「中野神社」で参拝、今日の無事を祈り15時10分発の橋本駅行きバスに乗車。約10km~11km歩いたハードなCコースでした。素晴らしい一日、皆様お疲れ様でした。



尾崎罌堂記念館



三井大橋

第574回 天園・紅葉 Bコース

小池 由美子

◇催行日 2013年12月4日(水) 天気 晴れ

◇コース JR北鎌倉駅下り改札口 10時集合
北鎌倉駅→明月院→勝上献→天園→獅子舞→永福寺跡→鎌倉宮→鶴岡八幡宮
→鎌倉駅

◇参加者 31名(敬称略)
滝 静男、中島 泰、古川 正、菅沼 喜久次、山本 三樹夫、城市 靖三、
井澤 章、中平 勇、大曾根 収、山田 勢津子、藤森 文夫、川崎 勝弘、
高橋 武久、渡辺 久信、弘海 昭雄、南 健輔、菅野 敏、多田 晋、
乾 紀美子、小池 由美子、加部 祥司、松山 暁紘、平野 猛、山内 浩司、
新谷 則雄、市楽 正博、弘海 愛子、飛田 和男、景山 康二、根井 淳
福山 幸治

◇メモ

北鎌倉駅を10時10分に出発し、明月院先のハイキングコース入口で朝礼後、歩き始める。スタート直後から階段状のきつい登りがあり、アップダウンを繰り返しながら大平台に到着しこの地で昼食。食後に集合写真を撮り、天園を通過して獅子舞(紅葉谷)を下りたが、ここの紅葉がとても綺麗でした。银杏の落葉を踏みしめながらの下山でした。鎌倉宮を経由して鶴岡八幡宮に参拝後、段葛の道を通り14時30分に無事鎌倉駅に到着し解散した。



大平台にて



獅子舞の紅葉

メールアドレス変更

静岡 岡支部	坂田 治時	(79頁)	sakataharuji@gmail.com
神奈川中央支部	近藤 正	(108頁)	kondo-t@jcom.zaq.ne.jp
横浜 中央支部	鈴木 長生	(28頁)	cho3suzuki@f04.itscom.net

会員訃報

藤平 弘子 様 (享年78歳) 平成25年 2月17日 (藤平 重昭様のご令室様)
 宮村 功 様 (享年76歳) 平成25年10月13日 (54頁)
 川崎 礼子 様 (享年75歳) 平成25年10月28日 (川崎 靖夫様のご令室様)
 田元 勲 様 (享年77歳) 平成25年10月28日 (42頁)
 高野 美代子様 (享年81歳) 平成25年11月14日 (高野 詮栄様のご令室様)
 濱口 絢生 様 (享年79歳) 平成25年11月16日 (33頁)
 大貫 和雄 様 (享年70歳) 平成25年11月23日 (141頁)

上記7名の方がご病気のためお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りします。

編集委員会からのお知らせ

☆次回春号の原稿締切日は、3月25日(火)までにご投稿をお願いします。

提出先 : 〒251-0021 藤沢市鶴沼神明5-2-8 渡辺信久
 メールの場合の宛先 Eメール : watanabe_fk4890@yahoo.co.jp 渡辺信久

☆寿会ホームページへの投稿

☆寿会ホームページは、① 写真が多数掲載できる。② すぐに掲載と閲覧ができる。
 などの利点がありますので有効活用をお願いします。

寿会ホームページ担当 前北 勝司 Eメール : kmaekita@pop06.odn.ne.jp

編集後記

「継続は力なり」と言われますが、編集に携われた先輩諸氏の皆様のご努力により今回500号を迎えることが出来ました。

第1号～第8号までは手書き謄写版で、それ以降は平成21年(2010)まで編集には文字数を数えレイアウトを決めるなど大変な工数がかかるご苦勞を重ねて来られました。

最近はパソコンが普及したおかげで原稿収集や編集も大変に楽になりましたが、今回一区切りとなる500号を担当でき編集委員一同感謝をしております。

寿会も全国支部体制になり、支部として独自の活動をされておりますので、今後については、支部長と相談させていただくことになると思います。

発行日	平成26年1月 1日
発行人	関 毅
編集人	渡辺 信久
発行所	日本ビクター寿会